

## 地点 4



上の写真は Kunihiko Suzuki 's  
web site より引用させて頂いた。  
撮影日は2011年5月4日とのこと。

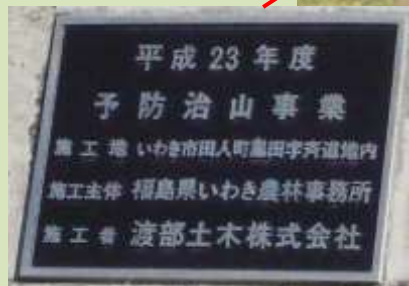
当方の写真撮影は2014年10月25日  
に行った。



## 地点5



上の写真は Kunihiko Suzuki 's web site より引用させて頂いた。  
撮影日は2011年5月4日とのこと。



当方の写真撮影は2014年10月25日  
に行った。



# 地点6 いわき市藤原町のスパリゾートハワイアンズ



施設内の被害はすべて2011年4月11日夕刻の地震によるもので、再建までに11ヵ月を要したとのことである。



# 地点7 いわき市藤原町 藤原断層上の建徳寺で地震被害



寺の本堂を通過した地表地震断層。本堂は手前側に傾斜しているが、屋根瓦はあまり落下していない。写真の左端の樹木の後ろに倒壊した山門がある。



地表地震断層(矢印間)が通過した参道と倒壊した山門。

上段の写真は土木研究所による『4月11日の余震でいわき市に出現した地表地震断層(第1報)』に掲載されたものを借用した。



下段の写真はすべて2014年10月25日に撮影したものである。

再建された山門→

本堂跡に隣接して再建された本堂

ご住職による貴重な証言：  
『藤原断層に沿った地震被害は4月11日  
夕刻の地震によって発生した』

破壊された山門の廃材



# 現地調査についての若干の考察

2011年4月11日17時16分にいわき市南部で発生したM7の地震は、3月11日の地震の余震とも誘発地震とも考えられている。それはともかくとして、周辺地域には少なからず地震動による被害が発生し、地表には明瞭な断層変位が出現しているとのことで、遅ればせながらそれらの確認を行うことが今回の現地調査の目的であった。

当初から漠然と理解していたのは、いわき市がネットで公開している『2011/3/11 いわき市・東日本大震災の証言と記録』に掲載されていた右図によって、井戸沢(塩ノ平)断層が動いたのは4月11日17時16分の地震、湯ノ岳(藤原)断層が動いたのは翌4月12日14時07分の地震によるものであろうと云うことであった。しかし、藤原断層の変位を伴った藤原町内の2つの地震被害地点6,7では、意外なことに『地震被害も断層変位も4月11日の地震で発生した』と云う当事者からの明瞭な証言が得られ、これが地震学上の大問題であるのか、それとも単なるよくあることであるのか、大いに気になるところである。

ネットで検索した範囲では、多くの方々は断層変位の出現の方のみ注目していて、地震被害にはさほど興味を示されていないように見受けられた。唯一、土木研究所による『4月11日の余震でいわき市に出現した地表地震断層(第1報)』だけが「湯ノ岳断層東端部およびその南東延長である藤原断層沿いにも、段差を伴う地盤変位がある程度の連続を持って出現しており、その形態、連続性から地表地震断層であると考えられる。しかしながら、この断層も4月11日に出現したようであるが、出現させた地震が上記の地震であるかどうかは不明である」と疑問を呈しておられた。

最後に、今回の現地調査では次の方々大変お世話になった。まず、いわき市田人支所の下山田誠氏には、井戸沢(塩ノ平)断層沿いの地震被害・断層変位の顕著な場所を教えて戴き、短時間での現地調査を大いに助けていただいた。田人中学校、食堂ながせ、塩ノ平地区の方々にもその都度お世話になった。Spa Resort Hawaiians 総支配人の若松貴司氏には施設内の被害箇所や震災復旧の状況について丁寧にご説明戴いた。建徳寺ご住職にも地震時に体験されたお話を伺うことができた。以上の方々に心より感謝を申し上げたい。



注) ★は4月11日(井戸沢断層付近)、4月12日(湯ノ岳断層付近)に発生した地震の震源地。

図2-10 井戸沢断層、湯ノ岳断層の位置〔「土地分類基本調査図(平成5年)」から作成/1:200,000地形図(原寸×0.93) 白河(平成18年修正) 国土地理院発行〕